

中学の成績は中学 3 年生の 2 学期まで!

冬休みの過ごし方が将来を左右する!!

2023 年の高校入試から公立高校入試制度が大きく変わります。

変更点はいくつかありますが、影響が最も大きいのは入試日程が早くなることです。この日程変更により内申書の最終決定時期が中学 3 年の 12 月になります。つまり中学 3 年の 2 学期までのテスト結果で最終成績が決まるのです。

中学 2 年生の 12 月は高校入試ちょうど 1 年前になります。12 か月後には中学最終成績が出て卒業後の方向性が決定します。進路決定まで残り 12 か月しかありません。中学 3 年生になったら頑張ろうでは遅いのです。中学 2 年生はこの冬休みから高校入試が始まるのです。今年の冬を未来への第一歩にしていきましょう。

中学 1 年生および小学生の皆さんも、新しい制度がどんどん始まる一方で、コロナの影響で学校での学習内容、進度は不安定です。だからこそ、冬休みにこれまでの学習内容をきちんと復習、理解して、次へのステップに備えなければなりません。

中学 3 年生の方には授業中にお話ししましたが、一部地域では「高卒初任給の手取り額が最低賃金を下回る現象」が起きています。高校進学後は高校 1 年の最初から大学入試を見据え成績上位を目指していかなければなりません。就職も成績上位者から決まっていくことも忘れてはなりません。常に上を目指す

姿勢を持たなければ、必ず大きな損失が自分に返ってきます。「とりあえず受かればいい」という考えではなく、「受かってからが勝負」という気持ちを忘れずに合格まで全力で頑張りましょう。

大学入試では、推薦入試の合格者が大幅に増加しています。これは私立大学だけではなく国公立大学も同様です。推薦入試の合格者が増えているということは高校でも内申点が従来よりも重要になるということです。大学の推薦合格は高校1年から高校3年までの平均成績で決まるので、1年生の最初からの積み重ねがなければ得られません。つまり高校3年間のすべての努力が評価されるのです。今この瞬間から全力で合格を勝ち取るという気持ちと日々の努力が必要です。

講師一同、皆さんを全力で指導します。冬期講習、一緒に頑張りましょう。